

南総通運グループ

3カ年中長期経営計画（2021年度～2023年度）

— 新たなる成長と持続的成長を目指して —



目次

I. 経営理念

II. 経営ビジョン

III. 名称

IV. 実施期間

V. 基本方針

VI. 経営目標

VII. 基本戦略

VIII. スローガン

IX. 重点施策

X. 重点施策の細目

『 地域社会と共存共栄し、
お客様から信頼を得る 』

『 物流を通じて社会生活を豊かにする 』

地域社会から必要とされる企業

地域社会に物流を通じて
貢献する。

トータルロジスティクス企業

お客様に物流を通じて
貢献する。

安全への責任を果たす企業

事故を撲滅し、安全社会の実現
に

環境への責任を果たす企業

環境へ配慮し、脱炭素社会の実現に
貢献する。

南総通運グループ 3カ年中期経営計画

— 新たなる成長と持続的成長を目指して —

Ⅳ. 実施期間

2021年 4月1日 ~ 2024年 3月31日

新たな成長と将来の持続的成長を
目指す事業構造を作り上げる



新たな成長

持続的成長

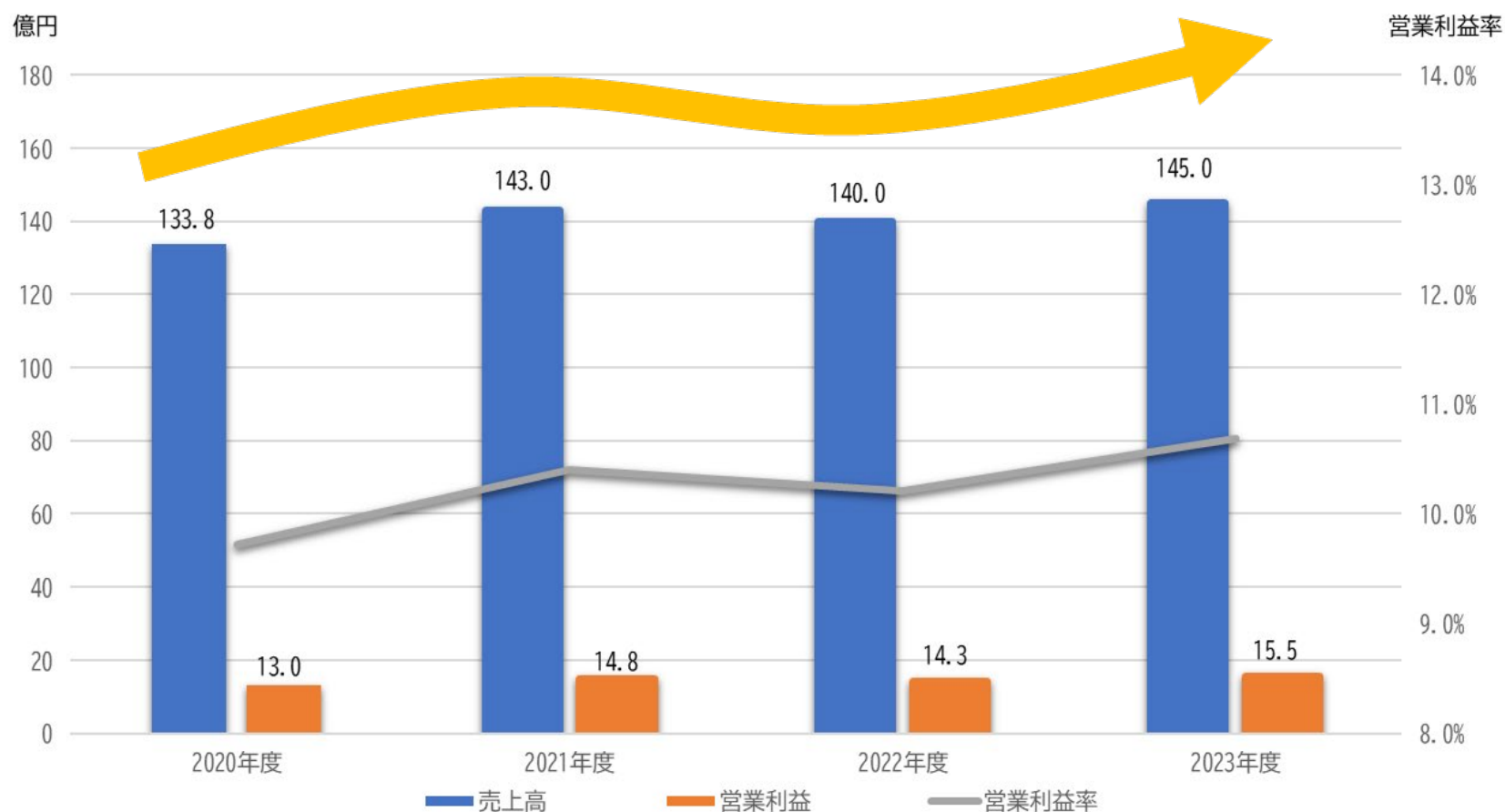
強い事業構造

VI. 経営目標（2024年3月期目標）

売上高 14,500,000 千円

営業利益 1,550,000 千円

営業利益率 10.7 %



業務運営力(現場力)の向上



トータルロジスティクス事業
の拡大



ワンストップサービスの提供



強い事業構造

資産の有効活用



不動産事業の拡大

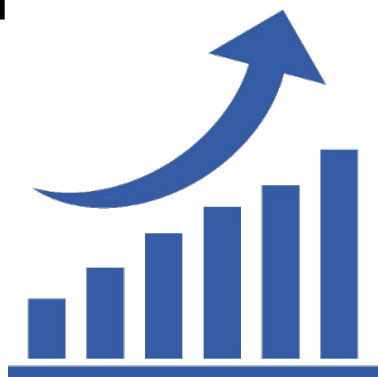


『自ら考え、行動する』

安定志向を打破して、「自ら考え、行動する=自己変革」に挑戦しよう



1



事業拡大

2



収益化構造の構築

3



人材育成と採用確保

4



安全・衛生

5



コンプライアンス

6



環境保全

7



社会貢献

8

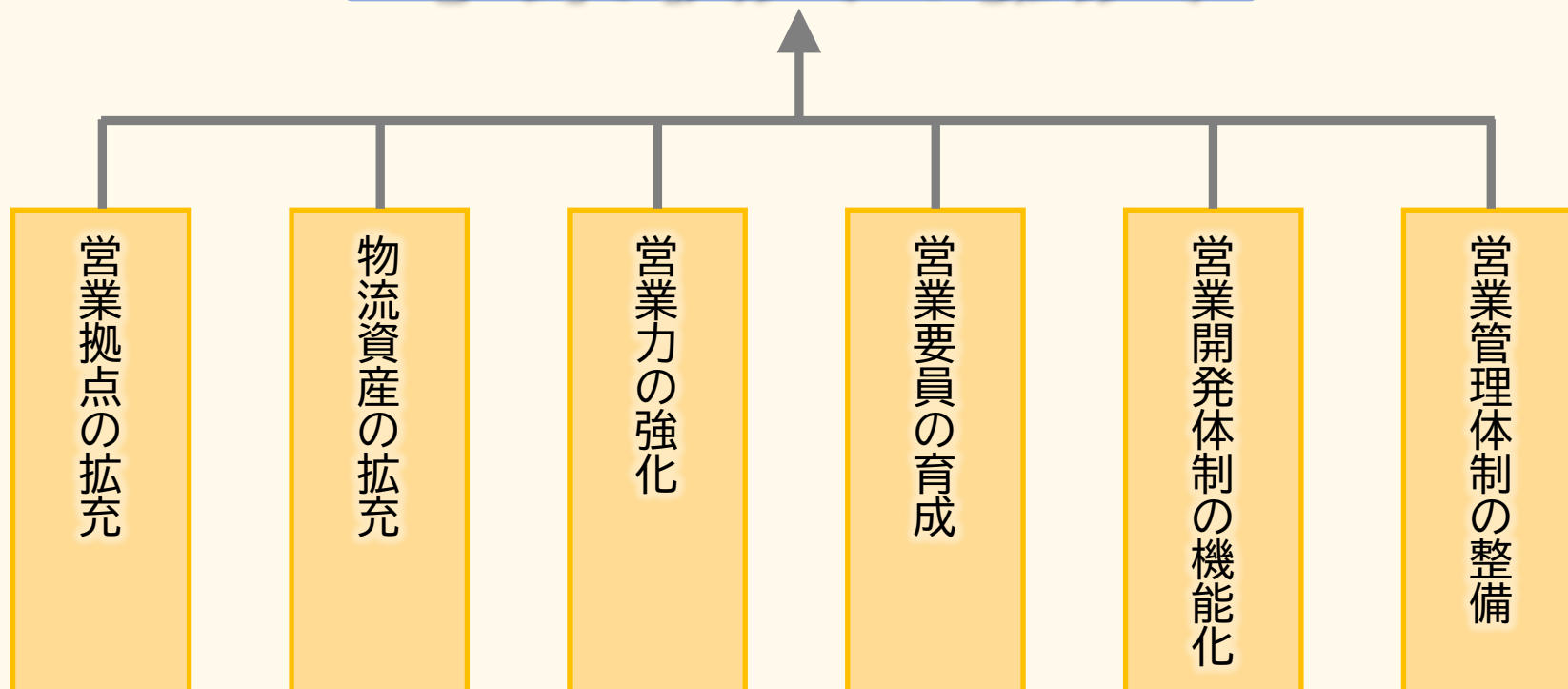


株主様への責務

1. 事業拡大

A. 事業収入の拡大

事業収入の拡大



B. 強化する事業

(1) トータルロジスティクス事業



ワンストップサービス

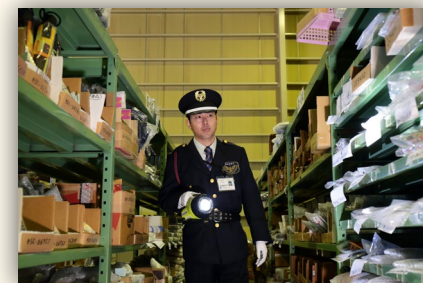


(2) オートモーティブ事業



(3) 輸出入貨物物流事業

(4) 警備事業



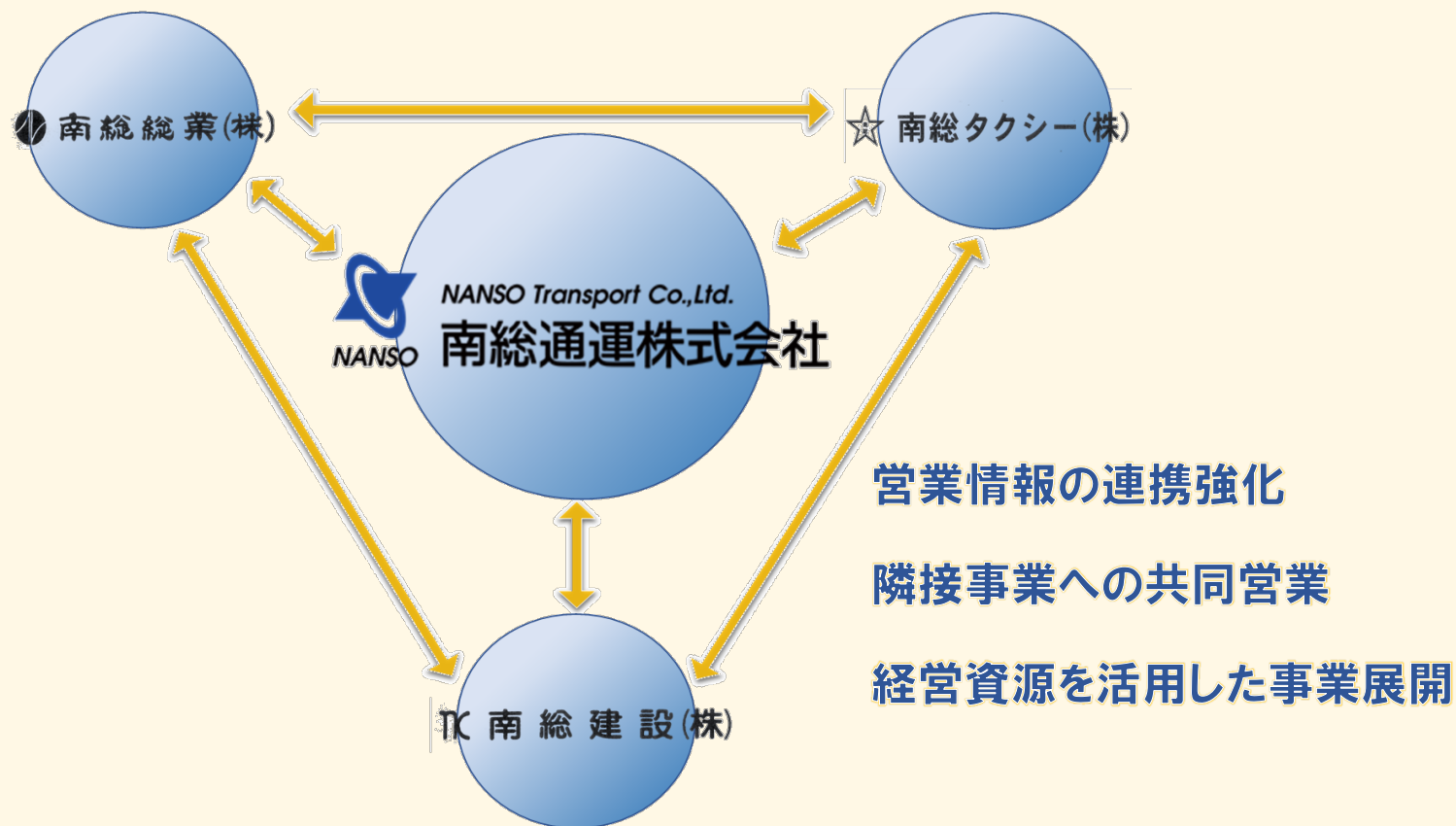
(5) 不動産事業

X. 重点施策の細目

C. DXによる新物流サービスの開発・提供

D. 資産の有効活用

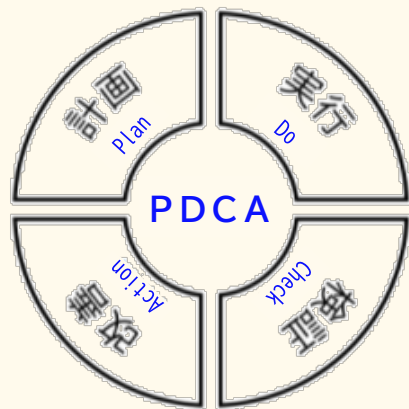
E. グループ各社とのシナジー効果の発揮



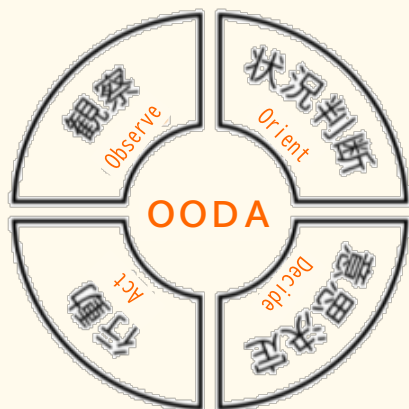
2. 収益化構造の構築

A. 高品質なサービスの提供

(1) 業務運営力（現場力）の向上



PDCAサイクル



OODAサイクル



(2) 作業手順・業務手順の見直し・確認

(3) 品質体制の強化

(4) お客様要求品質基準・数値達成に向けた取り組み

B. ローコスト体質の構築

(1) 作業生産性の向上



作業生産性向上

高付加価値作業の提供



(2) 車両・倉庫の稼働率向上



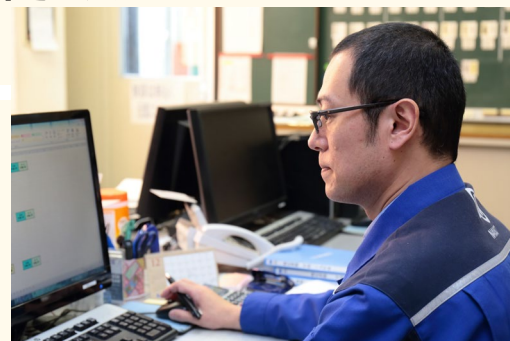
車両稼働率向上



倉庫稼働率向上

(3) 物流倉庫における作業工程管理者の育成

(4) 配車担当者の育成



C. 輸配送能力の拡大

(1) 社有車の増強



(2) 協力輸送会社の強化

X. 重点施策の細目



適正料金の收受



全社的運用での社有車の有効活用



経費の節減



各店所・各グループ会社の
機動的作業力の活用



DXによる事務の効率化



内製化の推進



変動費管理の徹底

3. 人材育成と採用確保



能力の習得



問題解決



業務遂行



業務改善



リーダーシップ

スキルUP



資格取得の推進・奨励



ジョブローテーション



女性社員の職域拡大

4. 安全・衛生

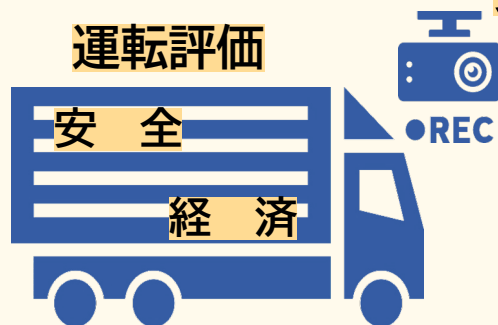
『 安全先取りの危険予知とルールへの順守で、無事故・無災害でいこう！ 』

『 ゆずる心で、ゆとり運転をエコドライブ
(安全運行・環境保全・経費節減) の実践で実現しよう！ 』

『 規則正しいバランス生活で、生活習慣病を予防しよう！ 』



安全への取組み



労務管理の徹底



5. コンプライアンス

A. 関係法令の遵守



B. 内部統制の強化



社会規範に沿った「公正な商取引」

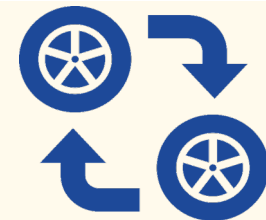


6. 環境保全

A. ISO14001規格の業務運営



エコドライブへの取組み



リトレッドタイヤの使用推進

B. 脱炭素社会の実現に向けたCO2削減への取組み

C. 環境適応車両の導入推進



バッテリーフォークリフト使用

D. 照明施設のLED化



大型ファン

7. 社会貢献

A. 社会の共通目標であるSDGsへの取組み

B. ESG経営への取組み

C. 社会貢献事業の実施

物流事業を通じての社会貢献



8. 株主への責務

A. 安定配当による利益還元



B. 企業価値の創出と増大



本資料の記述には、当社の将来の業績等に関する見通しが含まれていますが、これらは現在入手可能な情報に基づくもので、経済の動向、当社を取り巻く事業環境等の様々な要因により、実際の業績は見通しとは大きく異なる可能性があります。従って、これらの将来予測に関する記述に全面的に依拠することは差し控えるようお願い致します。また、当社は新しい情報、新しい出来事等に基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません